

狭山市史 中世資料編 目次

第一章 狭山市内所蔵文書

解説 狭山市内所蔵文書----- 3

資料

(1) 篠井家文書――中世末期の後北条氏（小田原）と入間川周辺の関係文書、
 笹井観音堂（修験寺院）の関係文書、並びに観音堂の沿革と篠井家の系図、修験道の歴史 7

1 乗々院大僧正奉書 享祿五年五月朔日----- 7

2 聖護院門跡御教書 天文廿一年三月廿七日----- 8

3 聖護院門跡御教書 天正七年八月廿七日----- 9

4 聖護院門跡御教書 天正七年八月廿七日----- 10

5 北条氏照判物 天正八年六月七日----- 11

6 北条氏照判物 天正八年六月七日----- 12

7 聖護院門跡御教書 天正十式年八月八日----- 13

8 聖護院門跡御教書 天正十式年八月八日----- 14

9 北条氏照判物 天正十六年正月八日----- 15

10 徳川家康寺領寄進状 天正十九年十一月日----- 16

11 慶要源春連署書状 文祿五年八月廿五日----- 17

12 瑞光寺広海書状 慶長十四年五月廿日----- 18

13 山下二郎左衛門外六名連署証状 慶長十四年五月廿日----- 19

14 比留間四郎兵衛外九名連署書状 慶長十四年五月廿一日----- 20

15 金子伝右衛門尉外一名連署証状 慶長十四年五月廿一日----- 21

16 聖護院門跡御教書 慶長拾四年五月廿三日----- 22

17 法眼法印連署判物 慶長十四年五月廿三日----- 23

18 高金兵衛書状 極月十一日----- 24

19 観音堂寺記----- 25

20 修験本当偽邪弁論----- 28

(2) 渋谷家文書――薬王寺の沿革と渋谷家の系図----- 63

21 法脈 天保二年八月----- 63

(3) 信立寺文書――信立寺と日愷----- 65

22 某（伝日愷）書状----- 65

23 日愷証状 文祿三年五月廿三日----- 66

(4) 宗源寺文書――宗源寺と観音堂の関係----- 66

24 大般若経六百卷寄進者奥書 弘化四年二月----- 66

(5) 長谷川家文書――中世柏原地区に関する覚書----- 78

25 天正年中以来田地并ニ先祖系図書 安永八年六月吉日----- 78

(6) 明光寺文書――明光寺と加治氏----- 87

26 真言宗明光寺調査上申 明治二十八年十一月十一日----- 87

(7) 小山家文書――小山家と薬師如来----- 89

27 薬師如来之縁起 天正十七年十月----- 89

○年表----- 90

第二章 中世入間川のはじめ

解説一 中世入間川のはじめ----- 95

解説二 鎌倉街道----- 95

解説三 武蔵七党と加治氏・金子氏----- 101

資料

1 とはすかたり 四〇 宮内庁書陵部所蔵――入間川について----- 107

2 とはすかたり 九〇 宮内庁書陵部所蔵――堀兼の井について----- 107

3 信生法師集 宮内庁書陵部所蔵――堀兼の井、入間川宿について----- 107

4 曾我物語 五 浅間の御狩の事――入間川宿について----- 108

5 新編武蔵風土記稿 一六一 入間郡六 入間川村――鎌倉街道について----- 108

6 宴曲抄 善光寺修行――鎌倉街道について----- 108

7 入間郡誌 藤沢村――入間野について----- 109

8 吾妻鏡 一二 建久四年三月――源頼朝、入間野で追鳥狩を行う----- 110

9 吾妻鏡 八 文治五年七月――柏原太郎について----- 110

10 加治氏系図――武蔵七党----- 111

11 村山党系図――武蔵七党----- 112

12 丹党系図――武蔵七党----- 113

13 金子氏系図――武蔵七党----- 114

14 由良文書 治承五年十一月十一日――頼朝、新田義重を加治郷郷司職に補す----- 115

15 正本文書――新田氏所領と加治郷の関係----- 115

第三章 清水冠者義高と大姫

解説 清水冠者義高と大姫----- 119

資料

1 吾妻鏡 三 元暦元年四月・五月・七月（※）――義高の死とその前後----- 138

2 吾妻鏡 四 文治元年三月・五月――木曾義仲妹と大姫の出会い----- 139

3 吾妻鏡 五 文治二年六月・九月――静御前と大姫・政子との出会い----- 139

4 吾妻鏡 九 建久元年正月――源頼朝の奥州征伐に当たり、藤原氏残党等義仲・義高の名
 を用い反逆する----- 139

5 吾妻鏡 一三 建久五年七月・八月――大姫の容態悪化する----- 140

6 吾妻鏡 一三 建久五年閏八月――政子、義高の彼岸供養を行う----- 140

7 吾妻鏡 一六（※1）建仁三年五月（※2）――阿野全成（頼朝弟）、下野で八田知家に
 誅される----- 141

8 吾妻鏡 二四 貞応二年八月――政子、大姫の追善供養を行う----- 141

9 平家物語 七 清水冠者――義高、頼朝の婿となる----- 142

10 鎌倉北条九代記 姫君病悩付死去――大姫の病と死----- 142

11 清水冠者石祠 永享二年――清水八幡の由来----- 144

12 八幡神社縁起 一――八幡神社の沿革と義高の横死----- 144

13 新編武蔵風土記稿 一八〇 高麗郡五 上広瀬村――影隠地蔵の由来----- 148

14 新編武蔵風土記稿 一九一 比企郡六 鎌形村――鎌形八幡と義高の懸仏----- 148

15 水富村郷土誌 地誌編輯 上広瀬村 古跡――影隠地蔵について----- 149

16 入間郡誌 三芳野村――木曾八幡と義高残党伝説----- 150

17 栃木県史 一七 田代黒竜編――義高の墓所について----- 150

※本文中には
「六月」との表記

※1 吾妻鏡 一七の
誤記と思われる
※2 本文中には
五月・六月の表記

18	しみつ物語 国立国会図書館蔵――室町時代の義高に関する小説――	151
19	解題しみつ物語 国立国会図書館蔵――しみつ物語の解説書――	189
20	那須記 二 清水冠者被討附晋献公后驪姫言――義高に関する小説――	190
第四章 新田義貞の鎌倉攻略と入間川		
解説一	新田義貞の鎌倉攻略と小手指原合戦――	199
解説二	義貞伝説と入間川――	206
資料		
1	参考太平記 一〇 新田義貞挙義兵付小手指原久米川分倍河原合戦并天狗催越後勢事―― 義貞の挙兵と小手指原・久米川・分倍河原の合戦――	212
2	梅松論 上――北条軍と分倍河原の合戦――	216
3	塙文書 常陸国鹿島郡畑田村塙家所蔵――義貞と入間川の陣――	216
4	小笠原家系図――入間川・鎌倉の合戦――	216
5	神明鏡 下――義貞の挙兵と足利高氏の子千寿王（義詮）の参加――	216
6	保暦間記――義貞の挙兵――	216
7	新田勤王史――入間川の合戦と新田軍の遊撃戦――	217
8	梅松論 上――義貞の挙兵と鎌倉の合戦――	217
9	狭山の文化財 一 狭山市文化財調査報告三――義貞と三ッ木原の合戦――	218
10	新編武蔵風土記稿 一六一 入間郡六 三ッ木村――三ッ木古戦場――	220
11	新編武蔵風土記稿 一八〇 高麗郡五 柏原村――柏原砦跡――	221
12	入間郡誌 豊岡町――大將軍と大將陣――	222
第五章 古戦場としての入間川		
解説	古戦場としての入間川――	225
資料		
(1)	新田義貞・足利高（尊）氏の確執と中先代の乱――	229
1	梅松論 上――義貞の立場――	229
2	梅松論 上――高氏の立場――	229
3	参考太平記 一四 尊氏義貞確執奏状付公卿僉議事――新田・足利両家の確執――	229
4	異本年代記抜萃――足利直義（高氏弟）、鎌倉に下向――	230
5	梅松論 上――征夷大將軍成良親王、鎌倉に下向、東国武士親王の命に従わず直義に属す	230
6	参考太平記 一三 中先代蜂起付成良親王鎌倉御没落事――北条時行（中先代）信濃で 挙兵し南下、女影原で合戦――	230
7	宮下過去帳 上野新田郡武蔵島――女影原の合戦――	232
8	梅松論 上――高氏、北条軍を東海道で破り鎌倉に入る――	232
9	保暦間記――高氏、東国下向につき征夷將軍の号を請うが許されず、北条軍打破の後、 將軍の号を許される――	233
10	神皇正統記 後醍醐天皇――高氏を征東將軍とする――	233
(2)	北畠顕家の南下と入間川の陣――	233
11	大国魂神社文書 磐城――顕家軍、利根川・安原・鎌倉の合戦で足利軍を破る――	233
12	元弘日記裏書――顕家軍、利根川・安原・鎌倉の合戦で足利軍を破る――	233
13	鶴岡社務記録 坤――顕家軍、利根川・安原・鎌倉の合戦で足利軍を破る――	234
14	御的日記――顕家軍、利根川・安原・鎌倉の合戦で足利軍を破る――	234
15	参考太平記 一九 顕家卿上洛付利根川合戦并新田徳寿丸相模次郎上洛事――顕家、 足利軍を利根川で破る、新田義貞の子義興、入間川に陣し顕家軍に合流――	234
16	参考太平記 一九 追奥勢跡道々合戦事――顕家・義興軍、鎌倉に入る――	234
(3)	武蔵野合戦――	235
17	園太暦 一八――新田軍挙兵、信濃の諏訪祝等宗良親王を奉じ鎌倉に入る――	235
18	鶴岡社務記録 坤――高氏、鎌倉から武州へ向かう――	236
19	町田文書 入間郡日高町町田家所蔵――金井原・人見原等の合戦――	236
20	蠹簡集残編 二 土佐 朝比奈永太郎所蔵――金井原・人見原等の合戦――	237
21	鶴岡社務記録 坤――金井原・人見原等の合戦――	237
22	鎌倉大日記 浅草文庫本――金井原・人見原等の合戦――	237
23	源威集 羽後――金井原・人見原等の合戦――	237
24	張州雑誌抄 三〇――金井原・人見原等の合戦――	237
25	参考太平記 三一 新田義宗已下起義兵事――新田義興・義宗兄弟、上野で挙兵し南下――	238
26	雲頂庵文書 相模――小手指原等の合戦――	239
27	蠹簡集残編 二 土佐 朝比奈永太郎所蔵――小手指原等の合戦――	239
28	古証文 二――小手指原等の合戦――	240
29	板橋文書 磐城――小手指原等の合戦――	240
30	新葉和歌集 一八 雑歌下――小手指原等の合戦――	240
31	李花集 雑歌――小手指原等の合戦――	241
32	新編武蔵風土記稿 一五七 入間郡二 久米村――小手指原古戦場址と鎌倉古街道――	241
33	源威集 羽後――高麗原等の合戦――	241
34	鎌倉大日記 浅草文庫本――高麗原等の合戦――	241
35	神明鏡 下――高麗原等の合戦――	242
36	赤堀文書――高麗原等の合戦――	242
37	井戸栗系図 系図綜覧所収――加治氏、初め新田軍のち足利軍に属す――	242
38	高麗氏系図 入間郡日高町高麗神社所蔵――高麗氏、新田氏に属す――	242
39	新編武蔵風土記稿 一七六 高麗郡一 総説――高麗原古戦場址――	243
40	参考太平記 三一 笛吹峠軍付義宗退越後義興義治龍河村城事――笛吹峠の合戦――	243
41	武蔵野話 二 比企郡――うすい峠について――	244
42	新編武蔵風土記稿 一九一 比企郡六 奥田村――うすい峠について――	245
(4)	足利基氏の子氏満、河越に拠る平一揆を討つ――	245
43	鎌倉大日記 浅草文庫本――平一揆、河越に拠り氏満に反乱、上杉憲顕関東へ下向――	245
44	喜連川判鑑――平一揆、河越に拠り氏満に反乱、上杉憲顕関東へ下向――	245
45	鎌倉九代後記――平一揆、河越に拠り氏満に反乱、氏満下向――	245
46	鹿苑寺文書 山城――上杉憲顕、関東へ下向――	246
47	花宮三代記――上杉憲顕、関東へ下向――	246
48	桜雲記 中――基氏病み、氏満を名代として平一揆を攻める、基氏病死――	246
49	南方紀伝 下――基氏病み、氏満を名代として平一揆を攻める、基氏病死――	246
50	七卷冊子 六――基氏病み、氏満を名代として平一揆を攻める、基氏病死――	246
51	花宮三代記――氏満、平一揆を討つ――	246
52	市河文書 出羽――氏満、平一揆を討つ――	247

(5) 足利氏満、小山若丸を討つ	247
53 鎌倉大草紙 小山若丸の乱	247
54 烟田文書 楓軒文書纂所収 烟田重幹、小山若丸討伐のため府中・白河等に陣す	247
55 嶋津文書 備後 嶋津直忠、小山若丸討伐のため入間川等に陣す	248
56 榊原家所蔵文書 小山若丸の討伐	248
(6) 上杉禪秀の乱	248
57 看聞御記 禪秀、足利満隆・持仲等と足利持氏に背き鎌倉で挙兵	248
58 烟田文書 楓軒文書纂所収 禪秀、足利満隆・持仲等と足利持氏に背き鎌倉で挙兵	249
59 喜連川判鑑 禪秀、足利満隆・持仲等と足利持氏に背き鎌倉で挙兵	250
60 鎌倉大草紙 禪秀、足利満隆・持仲等と足利持氏に背き鎌倉で挙兵	250
61 鎌倉九代後記 禪秀、足利満隆・持仲等と足利持氏に背き鎌倉で挙兵	251
62 湘山星移集 禪秀、足利満隆・持仲等と足利持氏に背き鎌倉で挙兵	252
(7) 足利持仲と南一揆の合戦	253
63 豊嶋宮城文書 内閣文庫所蔵 持仲と上杉憲方、南一揆及び江戸・豊嶋氏等と戦い敗れる	253
64 鎌倉大日記 浅草文庫本 持仲と上杉憲方、南一揆及び江戸・豊嶋氏等と戦い敗れる	253
65 鎌倉大草紙 持仲と上杉憲方、南一揆及び江戸・豊嶋氏等と戦い敗れる	253
66 鎌倉九代後記 持仲と上杉憲方、南一揆及び江戸・豊嶋氏等と戦い敗れる	253
67 武州文書 多摩郡 足利持氏、南一揆に新田・岩松の余党を討伐させる	254
68 武州文書 多摩郡 足利持氏、南一揆に新田・岩松の余党を討伐させる	254
(8) 禪秀残党の反乱と舞木宮内丞	254
69 喜連川判鑑 舞木宮内丞、禪秀残党と入間川で合戦	254
70 鎌倉大日記 浅草文庫本 舞木宮内丞、禪秀残党と入間川で合戦	255
71 鎌倉大草紙 舞木宮内丞、禪秀残党と入間川で合戦	255
72 浪合記 舞木宮内丞、禪秀残党と入間川で合戦	255
(9) 足利持氏と入間川の陣	255
73 相州兵乱記 持氏鎌倉へ帰玉フ事付鎌倉合戦 持氏、上杉憲実と早川尻等で合戦	255
74 喜連川判鑑 持氏、上杉憲実と早川尻等で合戦	255
75 上杉家文書 憲実、府中に陣す	256
76 看聞御記 持氏、入間川に陣す	256
(10) 長尾景仲の入間川滞陣	256
77 鎌倉大日記 浅草文庫本 結城氏朝幕府に背く	256
78 鎌倉大草紙 景仲、結城討伐のため入間川に陣す	256
(11) 足利政氏と柏原の陣	258
79 入間郡誌 郷土の沿革 足利政氏、上杉顕定を助け柏原に陣す	258
80 入間郡誌 柏原村 足利政氏、上杉顕定を助け柏原に陣す	258
(12) 上杉憲寛と入間川の陣	258
81 続本朝通鑑 一八一 憲寛、上杉朝興の蕨城攻めに随い入間川に陣す	258
(13) 三ッ木合戦	258
82 快元僧都記 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	258
83 妙法寺記 下 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	259
84 鎌倉九代後記 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	259
85 北条記 二 河越城責の事 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	259
86 関東管領記 後鑑卷三〇三所収 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	259
87 河越記 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	260
88 北条系図 小田原編年録所収 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	261
89 関八州古戦録 一 北条早雲庵父子付氏綱菩提所建立ノ事 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	261
90 北条五代記 三 応永より慶長関東合戦次第の事 北条氏綱、上杉朝定と三ッ木で合戦し河越城を陥す	262
91 北条五代記 一 上杉朝成を生捕事 上杉朝成(朝定叔父)、北条軍に捕えられる	262
92 入間郡誌 堀兼村 三ッ木原古戦場址	262
(14) 上杉憲政と柏原の合戦	263
93 関八州古戦録 一 上杉憲政武州河越城責ノ事 上杉憲政、河越城を攻め柏原で合戦	263
(15) 河越夜戦	265
94 関八州古戦録 一 福島伊賀守勝広河越ノ城へ駆入ル事 河越夜戦について	265
95 関八州古戦録 一 北条氏康河越城後詰付夜軍ノ事 北条氏康、河越城を包囲する上杉軍を破る	265
○年表	269
第六章 関東の管領足利基氏と入間川御所	
解説一 関東の管領足利基氏と入間川御所	275
解説二 入間川御所について	287
資料	
(1) 関東公方・鎌倉御所	300
1 円覚寺文書 円覚寺所蔵 基氏を鎌倉御所と称す	300
2 保坂文書 高氏を鎌倉御所と称す	302
3 覚園寺文書 覚園寺旧蔵 高氏、義詮を鎌倉殿と称す	302
(2) 基氏と義詮の関係	302
4 日工集 將軍義詮、八幡宮に誓書を納め、基氏と兄弟相護ること誓う	302
5 日工集 基氏の人となり	302
6 難太平記 基氏と関東の統治	303
7 難太平記 高氏・直義、基氏を義詮の御守目とする	303
(3) 足利基氏の入間川滞陣	303
8 鶴岡社務記録 坤 基氏、鎌倉を立ち武州へ下向	303
9 烟田文書 楓軒文書纂所収 基氏、鎌倉を立ち武州へ下向	303
10 神明鏡 下 基氏・畠山国清、入間川へ向かう	304
11 源威集 羽後 基氏・畠山国清、入間川に陣す	304
12 鎌倉管領九代記 一 畠山道誓上洛付同関東下向謀叛滅亡 基氏、入間川を前にして陣す	304
13 鎌倉九代後記 基氏、入間川殿と称す	304
14 鶴岡社務記録 坤 高氏、京へ上る	304
15 神明鏡 下 高氏、京へ上る	304
16 大庭文書 基氏、入間川滞陣のため、八幡宮浜大鳥居棟上を略儀により執行	304

17	覚園寺文書	覚園寺旧蔵	基氏、覚園寺長老に高氏病氣平癒の祈禱を命ず	305		
18	覚園寺文書	覚園寺旧蔵	基氏、覚園寺災上を見舞う	305		
19	覚園寺文書	覚園寺旧蔵	基氏、覚園寺長老に天下静謐祈禱を命ず	305		
20	覚園寺文書	覚園寺旧蔵	基氏、覚園寺長老に彗星出現による天下安全祈禱を命ず	305		
21	覚園寺文書	覚園寺旧蔵	基氏、覚園寺長老に雨乞祈禱を命ず	305		
22	相州文書	義詮、鶴岡八幡宮の訴えをいれ、基氏に久良岐郡久友郷を安堵させる	305			
23	相州文書	基氏、般若心経を写経す	306			
24	古簡雜纂	六	入間川御所警固について	306		
25	萩藩閥閥録	八一	金子弥右衛門基氏、金子氏等に上京を命じ、義詮の南軍討伐を加勢する	306		
26	駿河志料	古文書府内二	別府文書基氏、金子氏等に上京を命じ、義詮の南軍討伐を加勢する	306		
27	雲頂庵文書	相模	基氏、金子氏等に上京を命じ、義詮の南軍討伐を加勢する	306		
28	萩藩閥閥録	八一	金子弥右衛門基氏、再度金子氏に上京を命じ、義詮の南軍討伐を加勢する	306		
(4)	新田義興、矢口の渡して謀殺される			307		
29	参考太平記	三三	新田義興自害事	義興、謀略により矢口の渡して自害、義興の亡霊入間川をおびやかす	307	
30	喜連川判鑑		義興、矢口の渡して誅される	313		
(5)	畠山国清、入間川より上洛			314		
31	愚管記	五	国清、南軍討伐のため上洛	314		
32	園太暦	三二	国清、南軍討伐のため上洛	314		
33	延文四年記		国清、南軍討伐のため上洛	314		
34	喜連川判鑑		国清、南軍討伐のため上洛	314		
35	参考太平記	三四	畠山道誓上洛事	国清、南軍討伐のため上洛	314	
36	兵左衛門家文書	西多摩郡五日市町	国清、軍勢を催促する	316		
(6)	足利基氏、畠山国清を追討			316		
37	大乘院日記目録		国清、鎌倉へ下向	316		
38	参考太平記	三五	南方蜂起付畠山道誓下向関東事	国清、鎌倉へ下向	316	
39	雲頂庵文書	相模	国清、基氏に背き伊豆に籠る	316		
40	安保文書	相模	国清、基氏に背き伊豆に籠る	317		
41	鎌倉大日記	浅草文庫本	国清、基氏に背き伊豆に籠る	317		
42	参考太平記	三七	畠山道誓逆心事此段除揚国忠事	国清、誅伐される	317	
43	正文書		国清、誅伐される	317		
(7)	足利基氏、入間川在陣中の氏満(金丸)を警固させる			318		
44	安保文書	信濃	基氏、入間川在陣中の氏満を警固させる	318		
(8)	足利基氏と高麗郡の産業			318		
45	町田文書	入間郡日高町町田家所蔵	基氏、高麗郡内知行分の年貢帖絹代を完済させる	318		
(9)	芳賀禪可の乱			319		
46	額田小野崎文書		宇都宮氏綱、上杉憲頭を討とうとする	319		
47	喜連川判鑑		禪可、憲頭を攻める	319		
48	秋田藩採集文書	二〇	城下諸土文書一〇	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦	319	
49	皆川文書	下野	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦	319		
50	集古文書	二四	下野国喜連処土三浦某所蔵	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦	319	
51	畑野文書	甲斐	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦	320		
52	畑野文書	楓軒文書纂所収	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦	320		
53	後愚昧記	三	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦	320		
54	喜連川判鑑		基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦	320		
55	鎌倉大日記	浅草文庫本	基氏、禪可等を破り、下野夫玉へ陣を進める	321		
56	神明鏡	下	氏綱、基氏に降伏する	321		
57	参考太平記	三九	芳賀禪可与足利基氏合戦事	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦、これを破る	321	
58	桜雲記	中	基氏、禪可等と苦林・岩殿山で合戦、これを破る	323		
59	築田家譜	内閣文庫所蔵	基氏、関東の将軍と称す	323		
60	新編武蔵風土記稿	一七二	入間郡一七	玉林寺村	苦林野古戦場址	324
61	新編武蔵風土記稿	一九一	比企郡六	岩殿村	岩殿山墨跡	324
62	参考	日本城郭全集	四	足利館		324
(10)	足利基氏の死と関東の管領			325		
63	上杉家文書		基氏、上杉憲頭に関東管領職就任を願う	325		
64	鎌倉九代後記		基氏、上杉憲頭を関東管領に任ずる	326		
65	細川頼之記		基氏、憲頭に後事を託す	326		
66	細川頼之記		基氏の死	326		
67	太平記評判秘伝理尽鈔	四〇	左馬頭基氏逝去事	基氏の死	327	
68	喜連川判鑑		基氏の死	328		
69	喜連川判鑑		平一揆、基氏の子氏満に背く、憲頭、京を立ち鎌倉へ下向	328		
70	関八州古戦録	一	関東鎌倉管領家の事	関東鎌倉管領家の由来	328	
(11)	入間川御所			329		
71	参考	関東中心足利時代史の研究	入間川御所柏原説	329		
72	参考	入間郡誌	豊岡町	入間川御所大将陣説	330	
73	参考	入間川町誌	入間川御所徳林寺説	330		
(12)	入間川御所と新田義興			330		
74	入間郡誌	豊岡町	愛宕神社と十三塚	330		
第七章	入間川の天災					
解説	入間川の天災			335		
資料						
(1)	鎌倉時代初期			337		
1	吾妻鏡	一八	建暦元年十月	鴨長明、源実朝に謁す	337	
2	発心集	四	武州入間川沈水事	入間川の洪水	337	
(2)	寛喜の天災			339		
3	吾妻鏡	二六	寛喜二年六月	金子郷に降雪・降雹、これより全国的に寛喜の天災始まる	339	
4	吾妻鏡	二六	寛喜二年八月	各地で洪水、穀物壊滅	339	

第八章	笹井の観音堂		
解説一	笹井の観音堂	-----	343
解説二	霞ヶ関について	-----	355
解説三	逆川と逆言葉	-----	360
資料			
(1)	霞ヶ関	-----	365
1	熊野三山検校次第	観音堂中興の祖、行尊について	365
2	廻国雑記	堀兼・入間川・観音堂・黒須川等について	365
3	廻国雑記	霞ヶ関	368
4	新編武蔵風土記稿	七 山川	霞ヶ関
5	水富村郷土誌	郷土の沿革並社寺旧跡	霞ヶ関
6	入間郡誌	柏原村	霞ヶ関
7	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 柏原村	霞ヶ関
8	入間郡誌	水富村	霞ヶ関
9	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 笹井村	笹井の滝と堰
(2)	霞について	-----	372
10	参考	多摩町誌 多摩町誌編纂委員会	霞の関と関戸
11	参考	修験道史研究	霞について
12	参考	修験道史研究	大峯について
13	参考	修験道史研究	修験道と徳川家康の統治
14	武州大先達瀧音山白山寺観音堂触下次第	笹井家所蔵	観音堂の勢力範囲
15	武州文書	入間郡	十玉坊と年行事職
16	新編武蔵風土記稿	一八四 高麗郡九 新堀村	大宮寺と観音堂
17	参考	高麗神社と高麗郷 入間郡日高町高麗神社所蔵	高麗氏と修験道
18	高麗氏系図	入間郡日高町高麗神社所蔵	高麗氏と修験道
19	新編武蔵風土記稿	一八三 高麗郡八 高萩村	高萩院と行尊
20	参考	東村山市民話集 東村山市文化財叢書六	河童の詫証文
21	参考	埼玉県伝説集成 下	笹井の河童タケ坊
(3)	逆川と逆言葉	-----	385
22	入間郡誌	入間川町	入間言葉
23	入間川町誌		逆言葉
24	狂言入間川	三人	入間川と入間言葉
25	武蔵演路	入間郡	入間言葉と逆川
第九章	柏原の鋳物師		
解説一	柏原の鋳物師	-----	395
解説二	狭山市内の胎内仏	-----	406
資料			
1	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 柏原村	円光寺・長谷川家・増田家
2	増田家墓碑銘	増田大水正金	
3	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 柏原村	白鬚神社・神明社・剣明社
4	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 上広瀬村	広瀬神社
5	新編武蔵風土記稿	一六一 入間郡六 入間川村	子ノ神社
6	新編武蔵風土記稿	一六一 入間郡六 上奥富村	梅宮神社
7	新編武蔵風土記稿	一八九 比企郡四 上八ッ林村	上八ッ林薬師堂
8	新編武蔵風土記稿	一一四 多摩郡一六 御嶽村	御嶽村御嶽神社
9	新編武蔵風土記稿	二一七 秩父郡二 高山村	高山村杉本坊
10	入間郡誌	南高麗村	上下直竹富士浅間社
11	新井家文書	入間郡野田新井家所蔵	北条氏(小田原)と柏原鍛冶師
12	参考	薄墨繪旨 入間市木蓮寺長沢家所蔵	鋳物師の縁起
13	参考	日本城郭全集 四 金子氏館	金子氏館
14	鋳物師職座法之掟	中世末期の鋳物師	
15	円光寺聖観音立像	法量と概要	
16	笹井家十一面観音坐像	法量と概要	
17	笹井家十一面観音立像	法量と概要	
18	常楽寺不動明王坐像	法量と概要	
19	常楽寺不動明王立像	法量と概要	
20	古谷家土屋稻荷神像	法量と概要	
○年表		-----	432
第十章	中世起立の社寺		
解説	中世起立の社寺	-----	437
資料			
1	新編武蔵風土記稿	一六一 入間郡六 入間川村	八幡神社・清水八幡社
2	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 上広瀬村	禅龍寺
3	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 笹井村	宗源寺
4	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 根岸村	明光寺
5	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 上広瀬村	信立寺
6	新編武蔵風土記稿	一六一 入間郡六 下奥富村	東林寺
7	東陽寺史	東陽寺の縁起	
8	新編武蔵風土記稿	一六一 入間郡六 入間川村	徳林寺
9	新編武蔵風土記稿	一六一 入間郡六 加佐志村	宝林寺
10	新編武蔵風土記稿	一六一 入間郡六 入間川村	慈眼寺
11	新編武蔵風土記稿	一八〇 高麗郡五 柏原村	常楽寺
○年表		-----	446
第十一章	中世末期の入間川		
解説一	中世末期の入間川	-----	451
解説二	後北条氏時代の入間川と庶民の生活	-----	452
解説三	郷村の成立	-----	456
	広瀬郷	柏原郷	奥富郷
	入間川郷	青柳	三ッ木
	笹井郷		
資料			
1	参考	小田原衆所領役帳 校訂者杉山博	所領役帳の意義と入間川・三ッ木・上奥富・広瀬・笹井・柏原
2	参考	入間川町誌 平本金十郎氏記録	田中村百姓への帰村命令

3	玉泉寺文書 武蔵―入間川の三年間諸役免除―	464
4	宝林寺文書 青梅市立図書館所蔵―入間川の三年間諸役免除―	464
5	北条五代記 二 関東永楽銭すたる事―北条氏康、関東諸国に永楽銭の通用を命ず―	464
6	新編武蔵風土記稿 一八三 高麗郡八 高萩村―定市の法度―	464
7	中氷川神社文書 所沢市中氷川神社所蔵―豊臣秀吉、入曾村等に禁制を出す―	465
8	水戸城北四院文書 常陸―洪垂下野小四郎と広瀬郷―	465
9	新編武蔵風土記稿 一六一 入間郡六 南入曾村―入曾十二衆―	466
10	古文帖―田中・入間川村と小笠原氏―	466
第十二章 市内石造遺物、板碑について		
解説	市内石造遺物、板碑について	469
資料		
1	参考 入間川町誌―板碑と古仏址―	473
2	入間碑集 一五―日国の碑―	473
3	青木文書 駿河―後北条氏(小田原)と石工―	476
4	参考 日本歴史 二八五―丹党と石工・金工・板碑―	476
5	参考 歴史手帖 五―板碑の資料的価値―	477
○	板碑一覧表	479
○	年表	483
中世関係指定文化財一覧表		
あとがき		
資料提供者名簿		
狭山市史編さん関係者名簿		
口絵・写真(図版)総目次		
口絵 1	母なる流れ入間川(市内新富士見橋付近)[カラー]	
口絵 2	鎌倉街道(市内加佐志付近)[カラー]	
口絵 3	影隠地藏(市指定文化財)	
口絵 4	さわりの壺(県指定文化財)	
口絵 5	篠井家文書(県指定文化財)	
口絵 6	信立寺文書	
口絵 7	篠井家十一面観音像(※)	
口絵 8	増田家懸仏(柏原)	
口絵 9	増田家鉄製位牌(柏原新田)	
口絵10	石川家とりべ	
口絵11	天岑寺月待供養の碑(市指定文化財)	
口絵12	徳林寺弥陀・大黒天・釈迦複合板碑	
口絵13	野々宮神社十三仏月待板碑	
口絵14	宮本家追刻板碑	
第一章 狭山市内所蔵文書		
図 1	乗々院大僧正奉書	7
図 2	聖護院門跡御教書	8
図 3	聖護院門跡御教書	9
図 4	聖護院門跡御教書	10
図 5	北条氏照判物	11
図 6	北条氏照判物	12
図 7	聖護院門跡御教書	13
図 8	聖護院門跡御教書	14
図 9	北条氏照判物	15
図10	徳川家康寺領寄進状	16
図11	慶要源春連署書状	17
図12	瑞光寺広海書状	18
図13	山下二郎左衛門外六名連署証状	19
図14	比留間四郎兵衛外九名連署書状	20
図15	金子伝右衛門尉外一名連署証状	21
図16	聖護院門跡御教書	22
図17	法眼法印連署判物	23
図18	高金兵衛書状	24
図19	観音堂寺記	25
図20	修験本当偽邪弁論	28
図21	渋谷家法脈	63
図22	日唄書状	65
図23	天正年中以来田地并ニ先祖系図書	79
第二章 中世入間川のはじめ		
図24	武蔵鎧(入間市木蓮寺)	103
第三章 清水冠者義高と大姫		
図25	清水八幡(現在)	第三章界紙
図26	義高墓石(鎌倉市常楽寺)	119
図27	清水八幡(昭和八年)	119
図28	大六天の森(栃木県益子町上大羽)	125
図29	影隠地藏	136
図30	八幡社懸仏(比企郡嵐山町鎌形)	148
第四章 新田義貞の鎌倉攻略と入間川		
図31	小手指原古戦場跡の碑(所沢市小手指)	204
図32	柏原砦跡の図	221
第六章 関東の管領足利基氏と入間川御所		
図33	基氏墓所(鎌倉市瑞泉寺)	275
図34	柏原砦跡の図	289
図35	入間川御所築城推定要図	293
図36	城山砦跡	295
図37	享保の庚申塔	296
第八章 篠井の観音堂		
図38	篠井家聖護院御用札	第八章界紙

※本文には
「篠井家十一面観音立像」
と表記

図39	観音堂本尊	-----	344
図40	薬王寺本尊	-----	344
図41	笹井村観音堂の図	-----	345
図42	根岸金山神社	-----	347
図43	原市場の板碑（飯能市原市場）	-----	348
図44	滝不動	-----	350
図45	竹ヶ淵	-----	350
図46	アケボノ象の歯	-----	351
図47	宗源寺過去帳	-----	355
図48	笹井村観音堂の図	-----	372
第九章 柏原の鋳物師			
図49	増田家金山神社（柏原）	-----	397
図50	増田家懸仏（柏原）	-----	397
図51	石川家とりべ	-----	397
図52	長谷川家懸仏（木製）	-----	398
図53	長谷川家懸仏（鋳物製）	-----	398
図54	白鬚神社明細帳	-----	398
図55	銅造円光寺聖観音立像	-----	398
図56	広瀬神社懸仏	-----	399
図57	銅造篠井家十一面観音立像	-----	399
図58	八王寺懸仏（飯能市南）	-----	399
図59	薬師堂鰐口（比企郡川島町）	-----	399
図60	増田家鉄製位牌（柏原新田）	-----	405
図61	佐藤家鍛冶屋金山神社	-----	406
図62	増田家墓碑銘（柏原）	-----	410
図63	広瀬神社神体・仏像の図	-----	411
図64	子ノ神社鰐口	-----	412
図65	梅宮神社の図	-----	412
図66	梅宮神社鰐口	-----	413
図67	薬師堂鰐口（比企郡川島町）	-----	413
図68	新井家文書（入間市野田）	-----	415
図69	新井家文書（入間市野田）	-----	415
図70	銅造円光寺聖観音立像	正面-----	420
図71	銅造円光寺聖観音立像	右側面-----	420
図72	銅造円光寺聖観音立像	左側面-----	420
図73	銅造円光寺聖観音立像	背面-----	420
図74	木造篠井家十一面観音坐像	正面-----	422
図75	木造篠井家十一面観音坐像	右側面-----	422
図76	木造篠井家十一面観音坐像	背面-----	423
図77	木造篠井家十一面観音坐像	底部-----	423
図78	観音立像胎内納入図	-----	424
図79	銅造篠井家十一面観音立像	正面-----	426
図80	銅造篠井家十一面観音立像	斜右側面-----	426
図81	銅造篠井家十一面観音立像	左側面-----	426
図82	銅造篠井家十一面観音立像	背面-----	426
図83	銅造篠井家十一面観音立像	底部-----	426
図84	常楽寺不動明王坐像	正面-----	427
図85	常楽寺不動明王坐像胎内仏納入図	-----	427
図86	常楽寺不動明王立像	-----	428
図87	古谷家土屋稻荷神像	-----	430
図88	古谷家土屋稻荷神像胎内納入仏	-----	430
第十章 中世起立の社寺			
図89	成円寺御札	-----	第十章界紙
図90	成円寺多聞天摺仏	-----	第十章界紙
図91	伝信立寺加治氏墓	-----	438
第十二章 市内石造遺物、板碑について			
図92	篠井家板碑	-----	第十二章界紙
図93	徳林寺板碑群	-----	第十二章界紙
図94	板碑各部の名称	-----	470
図95	日国の碑（綿貫家墓地）	-----	472
図96	古仏址（綿貫家墓地）	-----	472